

リーブラ便り

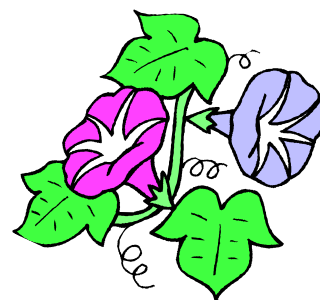
2012年7月号 VOL. 37



リーブラのマークは、「男女平等」の願いをこめた「てんびん座（リーブラ）」をモチーフにしています。

目次

1. 男女共同参画週間記念フォーラム2012開催報告
 2. 講座案内（リーブラ主催講座・団体育成事業）
 3. 講座報告
 4. リーブラ相談室～心のサポートルーム便り
 5. 男女平等参画情報
- ★ 別紙 7月の新着図書のご紹介



1. 男女共同参画週間記念フォーラム2012 “私”がひらく現在・未来 「ゆるやかに ゆっくり たしかに」を開催しました！

6月22日（金）、23日（土）の2日間にわたり、男女共同参画週間記念フォーラム2012を開催しました。今年のテーマは、「“私”がひらく現在・未来 ゆるやかに ゆっくり たしかに」でした。

3月11日の震災を経験した私たちは、「大切なことは何か」、「どんな社会をめざすのか」を考える岐路に立たされています。こんなときこそ、ゆるやかな人のつながり、結果や結論をあせって出そうとしないゆっくり待てる関係、それぞれの違いを認め合い、たしかなあゆみを支える地域社会が必要だ、との実行委員会の思いが込められたテーマでした。

今号では、フォーラム2012の模様をお伝えします。

6/22(金)

【主講演】 13:30～15:30
「不安から希望へ」～アメリカの失われた十年が私たちに教えてくれる事
講師： 堤 未果 さん（ジャーナリスト）



講演中の堤さん

『ルポ貧困大国・アメリカ』などの著書のある堤さん。2001年9月11日の同時多発テロ以降、アメリカでの健康・福祉・軍隊などをはじめとして、さまざまな面で民営化の進んだ事例が写真と共に紹介されました。

3月11日の東日本大震災や原発事故などをめぐる政府の対応と、同時多発テロの後に、アメリカ政府がとったさまざまな政策や取組の内容を比較し、説明がされました。

特に、民営化の流れが進んだ結果、ハリケーン・カトリーナの災害対応や、学校教育における給食の栄養価が子供に与える影響などは写真や数字を用いて説明されると、会場からは驚きの声があがるなどの場面もありました。

アメリカにおいて2001年からの10年間を通して失われたものとは、実は「性別によって差別や苦しむことなく、人間らしく生きていく」という男女平等参画社会の実現を目指すための理念そのものであったのではないかとのご指摘もありました。

様々な世代の皆さまに、社会・政治への関心をよびかけつつ一人ひとりが何をできるかを考えることの大切さが呼び掛けられた主講演となりました。

22日の他の講座、23日の模様については次ページをご覧ください。⇒

1. 男女共同参画週間記念フォーラム2012 (前頁から続く)

6/22(金)

リーブラ&実行委員会協働企画 「子どももおとなも集まれ!~リーブラ子育て交流ひろば」

新日本婦人の会港支部、コスモスコラス、みんなとピースサンデー実行委員会、みなとぞうれっしゃ合唱団の方々のご協力をいただき、親子での手遊びやダンス、絵本や歌の時間、おしゃべりと、盛りだくさんの内容でした。

初めは人見知りをしていただ子どもたちが手遊びなどで少しずつ慣れて笑顔を見せてくれると、大人もつられて笑顔になりました。保護者の方も子育て中のちょっとした疑問を、新日本婦人の会港支部の元保育士さんに聞くと一安心され、大人も子どももリラックスできる時間となりました。



【ネットワークリーブラ港区婦人団体連絡会】 「家族・一族で争わない 正しい相続について学び、実践する」

弁護士の中村久瑠美さんより、相続の基礎知識から具体的な事例まで、非常にわかりやすい説明で、役立つ知識を学びました。

「相続」は家族の問題であり、時に女性にとって非常に不利な側面もあるなど、法律を通して、家族の形や、性別を問わない平等性とは何かを考える、よい機会となりました。



【支會】(ささえのかい) 紙芝居・展示「たったひとつの人生に捧げる後見物語」

成年後見制度についての紙芝居を上演した後、元家庭裁判所調査官でもある支會のメンバーが、制度の申し立てができる親族の条件などについて説明されました。

なかなか知られていない制度について、参加者が理解するのに通常の講座とは一味違う切り口により理解を深める工夫がありました。



【全性平等委員会】 「サラリーマン男性の平均小遣い額 3万6500円は妥当か?」

男性の小遣い額をきっかけに、ライフプランについて考える講座でした。

ファイナンシャルプランナーの講師から、就業形態による年収の違い、住宅購入費、教育資金等について講義を受け、その後、参加者同士でグループになり話し合いました。



【ヒューマンサービスセンター】 「社会的企業がひろく~女にも男にも新しい社会参加を~」

「社会的企業」とは、多種多様な「非営利組織」の中でどのような位置を占め、なぜ現在注目されているのかなどについて、説明がありました。海外の社会的企業の事例も聞き、日本での課題と可能性を学びました。



6/23(土)

【全性平等委員会】 「性同一性障害を知っていますか?」

性同一性障害をめぐる、これまでの社会的動向や現状について、講義が行われました。また、参加者からの質疑応答を受け付ける時間もありました。

講師から、初歩的な疑問から具体的な相談まで、率直に答えていただき、一般の方のセクシャルマイノリティに対する誤解も解消し、当事者の方の戸惑いや悩みにも応える、充実した時間となりました。



【港区人権・男女平等参画担当】 「港区男女平等アシストプラン報告会」

男女平等参画社会の実現のための助成金制度を、23年度に利用した2団体の報告会が行われました。

特定非営利活動法人ヒューマンサービスセンターによる「女性の働き方・生き方を考える」ではフェイトレードに携わる女性たちや雇用状況についての報告が、特定非営利活動法人アジア女性経済会議による「新時代の女性のワーク・ライフ・バランスを考えるセミナー」では、日本と中国の女性の働き方の比較に関する事業の報告がありました。

【NPO法人男女平等参画推進みなと(GEM)】 「自分を大切に育てる子どもを育てるには」

仙台でのチャイルドラインの活動や、子ども・教員・保護者向けの「自分を大切に育てる性教育」のとりくみが、講師より紹介されました。

子どもが自分の身体や性について正しく知り、自分を大切に思える教育のあり方とは何か。性犯罪の、加害者にも被害者にもならないためには、どのような伝え方があるのか。

子どもへの教育のあり方は、大人たちの姿勢も問われる問題だと気づかされました。



【港区消費者団体連絡会】 「知ってためになるお葬式あれこれ」

普段はなかなか知ることのできない、最新の葬式の傾向、費用、内容などについて、どのような点に注意すればよいのかなどの説明がされました。

エンディングノートの説明では、資産・介護・医療・葬儀などに関する実務的な詳細のほかに、自分の本音や内容の矛盾など、心構えについてもアドバイスがありました。



1. 男女共同参画週間記念フォーラム2012 (前頁から続く)

【慶應さんかく会】 「『男女共同参画社会』の実現にむけた日本の現状と世界の実態」

ジェンダー・ギャップ指数のデータを使いながら、国際社会における男女平等参画の現状に関する解説がありました。その後グループに分かれ、「□+□=協力」の構図を使い、「協力」がどのように成り立つかを考えるワークショップをしました。発表会では、グループごとに様々な意見が提出され、ひとつの形にはまらない「協力」のあり方を考えさせられました。



【劣化ウラン廃絶みなとネットワーク】 「広河隆一写真展『チェルノブイリの今とフクシマ原発震災・フクシマで何が起きたのか』」

チェルノブイリの現在の写真と、福島原発周辺の写真が展示され、現代の人間の生活と原子力について考えさせられました。



【歌のあつまり“風”】参加型合唱劇 歌は生きる力 そのⅢ 「宮沢賢治の『虞十公園林』を聴いて歌いましょう」

宮沢賢治作『虞十公園林』から生まれた合唱曲の一部を、参加者全員でじっくり練習する時間を取り、最後に歌い上げました。力強く大きな歌声が響き渡りました。



【フォーラム2012企画運営委員会企画】 「私たちの危機管理その2 ～男女平等が実現された避難所って?～」

女性であることで、災害時、避難所で困ることはたくさんあります。3.11の経験をもとに女性自身がどのような避難所、支援を必要としているかを考える展示を行いました。参加者にアンケートを記入していただき掲示したり、リーブラを避難所とする場合、どのように部屋を使うか見取り図で表示したり、区の防災グッズを展示するなど、目で見えてわかると好評でした。



閉会式

6月23日(土)の午後6時半より、5階ホールで閉会式を行いました。まず「歌のあつまり“風”」の方の指導のもと、みんなで歌を歌いました。その後、マジック同好会の方の手品が披露されました。最後の挨拶をされる区の担当課長が参加した紐の束縛から解放されるパフォーマンスが成功すると、会場には感激の音が響きました。参加者、実行委員の方々が一体となった閉会式でした。



2. 講座案内 (リーブラ主催講座・団体育成事業)

ふらっとリーブラ9月 誰でも楽しめる♪ 世界に一つの「わたしの絵本」作り

- 日時：9月15日(土) 13:30~16:30
- 会場：リーブラ4階 学習室C
- 参加費：500円(材料費)
- 申込：申込方法、参加費の支払方法および受付場所等は講座チラシに詳細を記載しています。必ずご確認ください。
- 申込期間・支払期間：8月10日(金)9時~9月7日(金)20時まで。(※休館日(8月19日)は除く。)
- 定員：20名
- 対象：港区に在住・在勤・在学の方。親子での参加の場合、3歳児から参加可。児童のみの参加は小学生以上から
- 講師：牛嶋浩美さん(絵本作家・イラストレーター)
- 内容：講師のレクチャーのもと、参加者が、自分だけのオリジナル絵本を作成します。特製のイラスト材料を使って作るので、絵に自信のない方でも、小さなお子さんでも簡単に作れます。参加者同士、気軽なおしゃべりも楽しみつつ、最後には簡単な発表会も行います。親子でも、お孫さんと一緒に、お友達同士で、おひとりでも、大歓迎です！みんなで楽しく絵本を作ってみませんか？
- 保育：あり・無料 ※要予約(1歳以上未就学児まで)。保育申込締切：9月1日(土)

今から目指せるおシゴト発見！ ~女性のための再就職&起業講座 (2日連続講座)

0歳児同伴参加あり！

- 日時：第1回 9月27日(木) 第2回 10月4日(木) 10:00~12:00
- 会場：リーブラ4階 集会室3
- 講師：第1回は社会保険労務士、教育シッター、第2回は消費生活コンサルタント、NPO理事長として働くママ
- 参加費：無料
- 定員：30名(要申込・先着順)
- 対象：再就職を考えている女性。2回参加の方優先。
- 保育あり。1歳以上未就学児対象。9月14日(金)までに要申込。
- 0歳児同伴参加3名まで受付。定員あり。要申込。
- 申込：8月23日(木)から先着順で受付。メール・電話・FAXにてリーブラまで

子育てしながら資格取得の勉強をした方、夫の転勤に合わせて転居しながら、英語を身につけ、地域の人脈を築き、仕事や起業に生かした方、みんなフツの主婦、ママの経験を生かし、自分らしい働き方を見つけた方たちが講師です。

今から勉強したり情報収集して、再就職したい方、今は情報収集だけしたい方、きっと役に立つ体験談が聞けますよ！

団体育成事業 「男女共同参画社会へのシナリオ ~大学と地域社会の役割を考える~」 主催：慶應さんかく会

- 講師：鈴木透さん (慶應義塾大学法学部教授)
- 日時：9月29日(土) 14:00~16:00
- 会場：リーブラ5階 ホール
- 参加費：無料
- 定員：150名(要予約・先着順)
- 保育：1歳以上未就学児対象 保育は9月10日(月)までに要予約
- 申込・問い合わせ先：(メール) info@keiosankaku.com (FAX) 03(3455)6883 メール、FAXは慶應さんかく会まで (TEL) 03(3455)6881 TELはマザーアース(株)内、担当岩本まで
- 内容：男女共同参画社会はなぜ必要か、住み良い社会としての男女共同参画社会の基盤とは何か、ソーシャル・ハブとしての大学と地域社会の潜在力をどう引き出すかというテーマでお話頂きます。大学で専門の授業を受けた方や男女共同参画に関心がある方だけでなく、今まではまったく興味やかわりがなかった方、学生さん、子育て中のパパやママ、地域活動を開始してみたい...という方等々、この機会に、新しい扉をあけてみて下さい。多くの皆様のご来場をお待ちしています。
- 団体育成事業とは、団体等が実施する事業をリーブラが支援し、リーブラ及び団体等が協働して男女平等参画社会の実現を図ることを目的としています。リーブラ便りでは、講師の敬称は「さん」を使用しています。

3. 講座報告

子育てママのしゃべり場
ほっとサロンが
始まりました!!

子育ても自分も大事にしたい! そんなママに……

「ほっとサロン」は、子育て中の女性が子連れで参加できる、毎月1回開催しているおしゃべり広場です。

子育ての悩みや自分自身の悩みだけでなく、幼稚園や保育園の情報の集め方、子育てしながら勉強する方法、再就職への思いなど、さまざまな話題を話すことのできる場です。

7月6日(金)に第1回ほっとサロンを開催しました。0歳児や1歳児のママが参加され、育児休業明けの保育園選び、幼稚園での人間関係が心配などの話題で盛り上がりました。

今後は、下記の日程で開催していきます。予約は不要で、時間内は何時から参加しても、途中での帰宅もOKです。

もちろん、お子様連れで参加していただけます。会場は、当日リーブラ内に表示します。ぜひご参加ください!

2012年	9月14日(金)	午前10時~12時
	10月12日(金)	午前10時~12時
	11月 9日(金)	午前10時~12時
2013年	1月11日(金)	午前10時~12時
	2月15日(金)	午前10時~12時

4. リーブラ相談室

心のサポートルーム便り

昨年10月、滋賀県大津市の中学生がいじめが原因で自殺したとする問題が連日報道されていますが、職場の中にもいじめの問題は起きています。都道府県労働局等への職場での「いじめ・嫌がらせ」(パワーハラスメント)の相談件数は、2002年度は約6,600件でしたが、2010年度は39,400件に急増しました。このように職場のパワハラが増加している背景には、成果主義が強まるなど職場環境の急激な変化があるといわれています。職場でパワハラを受けてうつ病になる人が増えていることも問題となっており、上場企業の経営者を対象にした調査では、約8割の企業がパワハラ対策が重要と認識しているという結果も出ています。いじめもパワハラも被害を受けている側が苦しんでいるのに反して、加害者側は相手を傷つける行為をしていることに気づかないことも多いようですので、早めに専門機関にご相談をされることをおすすめします。

リーブラ相談室では、港区で働く方々にご利用いただけるように火曜・金曜は夜間相談を受け付けています。お仕事帰りにどうぞご利用ください。

【一般相談 開室曜日・開室時間】

火曜日 16:00~20:00
水曜日 10:00~16:00
金曜日 10:00~16:00、18:00~21:00

03-3456-5771 (相談室専用電話)

※電話相談も可能。面談は事前予約必要。
予約は上記の利用時間内に専用電話へお願いします。



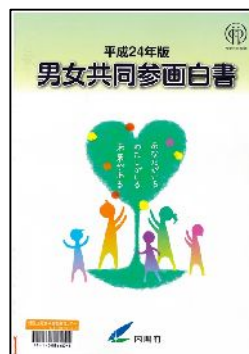
5. 男女平等参画情報 ~男性にとっての男女共同参画~

6月19日に平成24年度版の「男女共同参画白書」が閣議決定され、公表されました。さまざまな政策の進み具合のほかに、毎年特集が組まれる構成になっています。今年は、「男女共同参画の視点からの防災・復興」が特集されています。中でも特に次の点が興味深い指摘として感じました。

- ① (男性と比較して地域とのつながりが強く) 女性は、家族や近所の人等、周囲の声かけにより情報を入手し、複数人で避難できた。
- ② がれき処理は男性が担当し対価が支払われた。女性は避難所の食事準備などを担当するも対価は支払われなかった。
- ③ 仮設住宅の責任者は男性が多いが、集会所での集まりには男性はあまり来ず、孤立化が懸念される。

などが挙げられています。その他に挙げられた調査結果を見ると、性別役割分担意識が家の外にも移され、避難所や復興のプロセスでも構造的に立ち現れる状況が具体的に描かれています。また、その中で女性も男性も悩み、苦しんでいる姿が見えてきます。緊急事態における男女共同参画を意識し行動することの難しさや大切さを考えさせられます。白書は、リーブラの図書資料室でも閲覧できますので、ぜひ一度ご覧ください(禁帯出)。本データは内閣府のホームページでも公開されています。

→http://www.gender.go.jp/main_contents/category/kyodo/201207/201207_02.html



●休館日情報● 8月の休館日は、5日(日)と19日(日)です。入館できません。ご注意ください。



男女平等参画センター「リーブラ」3~5階

発行元	港区立男女平等参画センター リーブラ
住所	〒108-0023 港区芝浦3-1-47
TEL	03-3456-4149
FAX	03-3456-1254
HP	http://www.minatolibra.jp/
施設利用時間	月~土曜日 9:00~21:30 日曜日 9:00~17:00 *祝祭日は、曜日通りの開館です。
窓口受付時間	月~土曜日 9:00~20:00 日曜日 9:00~16:00

発行日:2012年7月20日